



巻頭言

「水質判定の基準」を学習する

代表理事 齋藤 昭一

水環境部会は平成22年6月18日(金)と25日(金) 神奈川県工科大学工学部応用化学科1学年を対象に「水質判定の基準」の学習会を開催しました。

この学習会の目的は、学生100名を3組13班に編成して、川の中に生息する水生生物を採取し、「きれいな川」「汚れている川」に大別調査し分類して水質判定の基準とすることです。

調査場所は、(1)厚木市小鮎川千頭橋下(担当 古谷)(2)厚木市中津川中三田陸橋下(担当 柳川、浅岡)(3)相模川座架依橋下(担当 齋藤)の3か所でした。

18日は雨でしたが、25日は晴天となりました。天候にかかわらず学生たちは楽しそうに元気に網を張り、声を張り上げながら生物採集をしていました。約2時間後、教室で各グループに分かれ、生物の特徴など質問応答しながら、真剣かつ楽しそうに分類作業を行っていました。

その中で特に若い男子学生に聞いたところ、聴講生として参加したとのこと。中津川で採集した生物の中に私達が主眼としていた「ナミウズムシ」を持っていたので、「これはとてもきれいな所に棲む生物」と説明したら瞳を輝かせていたのが印象的でした。

1学年担当主任高村先生がおっしゃるには、大学でこの授業をする目的は「気付きを知る」ことが大切だということでした。やってみたら楽しいよ、とにかく参加しようよ、と呼びかけ、川の環境を学びながら、グループでチームを作り、チームの中で何が出来るのか、良く考え、よい知恵を引き出すのです。ひとつの授業を通して、団結し、まとまりのある学生を育てていく、人間作りが目的であると伺いました。

大学一年生が
水生生物調査で
気づき学習

「体験、実験、太陽のエネルギー」を開催

エネルギー部会 安藤 紘史

神奈川県環境科学センター主催子ども環境体験教室の一環として、7月30日同センターで開催しました。(エネルギー部会員とグリーン部会員有志で実施)

「当たり前と感じがちな太陽のエネルギーをもう一度見つめなおす」ことをコンセプトに、新しいプログラムとして取り組んでみました。

(1)縮尺した太陽、金星、地球、火星の位置を巡回しながら、太陽の大きさや、地球の恵まれた環境を感じてもらいました。(写真左)

(2)太陽のエネルギーで起こる風や水の流れを利用した色々な発電実験を行いました。(写真中)

(3)太陽と上手に付き合っ暮らす方策について、スタレの効果、気化熱の利用、色の効果、グリーンカーテン等を体感してもらいました。(写真右)

同席した保護者からは「インターネットで知識が増える子供達に、実験や体験は大変良い経験でした。是非来年も参加させて欲しい」等々の声を沢山いただきました。



消費者教育教員研修で「地球温暖化防止に関する出前授業」を紹介

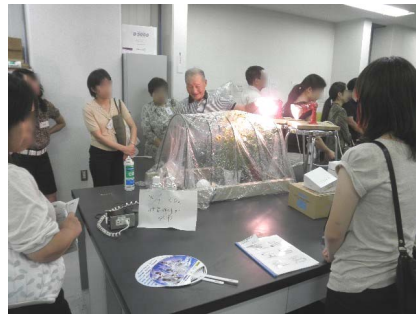
エネルギー部会 安藤 紘史

神奈川県消費生活課主催「消費者教育教員研修」の一環として、8月9日神奈川県環境科学センターで、地球温暖化防止の出前授業紹介を行い、40名近い先生方に熱心に受講していただくことができました。（荒谷理事、吉田理事とエネルギー部会で実施）先生方の学校は小中高校と幅が広く専門科目も多岐にわたるので、気づきの為の実験やゲームをできるだけ沢山紹介することに努めました。更に主催者

からは二酸化炭素に関する実験の要望もありましたので、省エネ、新エネ、二酸化炭素と通常の3倍近い実験を行いました。多岐にわたる内容でしたが、先生方には終始熱心に取り組んでいただくことができました。特に、ご自分の学校で実施する場合についての具体的な質問を沢山いただきました。いただいた質問を参考にして、より良い教材やプログラム作りに努力してまいります。



私達の出前授業の狙いと流れを説明



光合成で二酸化炭素の濃度が低下



二酸化炭素と水と混ぜると？

学校出前授業「実験して考えよう私にできるエコ」

エネルギー部会 桑原 清

神奈川県「新エネルギー・省エネルギー学校派遣事業」で受託した2つの出前講座を実施しました。

9月7日、10月15日 秦野市内の小学校

エネルギー部会のメンバー6名が訪問し、4年生1クラス34名に授業を実施しました。

9月7日の授業では、地球温暖化の原因や省エネについて学んだ後、実験やゲームにより省エネの方法などを学びました。最後に一人ひとりがこれからどんな省エネに取り組むかを決めました。

10月15日の授業では、子どもたちが約1ヵ月取り組んできた省エネを振り返り、感じたことや工夫したことを話し合い、発表しました。新エネの実験も行いました。

9月29日、30日 茅ヶ崎市内の小学校

エネルギー部会のメンバー7名が訪問し、4年生5クラス169名に講座を実施しました。クラスが多いため1日目3クラス、2日目2クラスに分けて授業を行いました。

地球温暖化の原因などを学んだ後、手回し発電機で白熱電球を点灯する実験など、色々な実験を体験しました。「違い探しゲーム」などで省エネについて学んだ後、日頃どのくらい省エネできているかをチェックしました。最後に地球儀を見ながら空気や水が貴重なことを学びました。



省エネ実践を振り返って話し合う（写真左）

空気や水の大切さを学ぶ（写真右）



洋光台誕生 40 周年記念

パークサイドフェスティバル 2010 の科学実験ショー出展

理事 吉田 榮一

洋光台連合自治町内会主催の洋光台誕生 40 周年記念パークサイドフェスティバルが平成 22 年 8 月 27 日～28 日に開催され、当会よりケナフ部会とエネルギー部会が中心となって 28 日（土）に出展しました。このフェスティバル出展には洋光台自治町内会会長の三上勇夫様はじめ連合会の皆様、はまぎんこども宇宙科学館の平野嘉昭課長、落合裕介様には準備段階から当日までいろいろと大変お世話になりました。また、地元の当会会員高橋尚道様のお陰でこのフェスティバルに出展できました。厚くお礼申し上げます。

このフェスティバルではケナフ部会がリサイクル 100%の紙管を使った「ペン立て工作教室」と紙管を利用した装置による「植物の光合成実験」や関連するパネル展示とその説明会を実施しました。当初予定した 100 個のペン立ての材料を全部使い尽くし、

急遽材料を切り、なんとか参加の皆様に対応していただけるように対応しました。

エネルギー部会では「発電して電車を走らせよう」、「省エネ実験をしよう」や「自然の力で電気をおこそう」のコーナーと「いろいろな電池を作ろう」の工作教室を開催しました。アルミホイルと備長炭の電池、銅板とアルミ板の電池、スイカの皮を使った電池、10 円玉と 1 円玉の電池など、さまざまな電池の工作や、人間の体を導線代わりにした人間電池にもチャレンジしてもらいました。

いずれの工作教室や体験コーナーでも体験と説明により親子で楽しんでいただき、ペン立ての作品や電池の工作部品のおみやげに家族の方やお友達にここで経験したことを話題にして、資源の大切さ、エネルギーの大切さや温暖化対策の輪が広がることを期待しています。



イメージを膨らませてペン立て作成中

光合成実験装置（手前が CO₂ 計測器）

子ども達が一番ビックリした人間電池

なるほど体験出前教室 大豆モヤシを育てて世界が見える

グリーン部会長 柳川 三郎

（財）神奈川科学アカデミーからの出前教室を、9 月 15 日、平塚市立中原小学校 5 年生 3 クラスに対して、グリーン部会の 4 名で行いました。

前半の 45 分では、パワーポイントによる「食べ物から世界が見える」の講義の後、Q&A を含めて、児童に参加型紙芝居夏バージョンを行ってもらいました。そして、モヤシを作るのになぜペットボトルを活用するか、豊富な植物性タンパク質を活かしたいろいろな食べ方、コンリユウバクテリアの大きな働き、ビタミン C や環境に優しい大豆インクについて、などを含め、モヤシの育て方についてワークショップを 15 分行いました。

後半の 45 分は、クラス別に大豆モヤシを育てる

ための作業です。ペットボトルの栓側 15cm をノコギリで切り、ヤシガラをひき、カバーしてその上に大豆を蒔きます。ペットボトルが倒れないように牛乳パックの下 10cm を使い、黒い紙でカバーをして作業は終わりです。

使った材料で、ペットボトルの余りはペットとして分別、ヤシ繊維は土に返す、余った牛乳パックは再生紙に分別してもらいます。

今後、水は毎日入れ替える、涼しく暗い所に置くことが条件で、観察日誌を一週間記録します。

生徒はみんな一生懸命に作業に取り組んで頑張りました。にわか講師の私たちもひたむきに必死で指導を繰り返し時間があっという間に過ぎました。

相模原だより 市立環境情報センターで先生向け&子ども向け講座

相模原市 荒谷 輝正

相模原市立環境情報センターの2講座を相模原在住のケナフ部員で協力しました。

(1)相模原市小学校教育研究会 総合的な学習部会「ケナフ紙漉き」講座

8月3日午後1~4時、相模原市立環境情報センター活動室で相模原市の小学校教員20名対象に「ケナフを使った紙漉き」を実施しました。

相模原市の小学校の先生で作られている相模原市小学校教育研究会 総合的な学習部会の会員の皆様から、学校の教材として「ケナフ」については関心があるのだが、ケナフについて殆ど知らないと言うことで、一度講習を開いて欲しいとの依頼がありました。相模原市に在住のケナフ部員で、ケナフの茎を使って、皮剥ぎ、叩き、刻み、ミキサーかけ、紙漉きと、紙漉き全般について体験して頂きました。熱心に参加して頂き、実際に子供に体験させたいとの声が聞かれました。



熱心に指導する会員



講座風景

(2)夏休み環境学校「CO₂発生ゼロ!?いろいろな発電体験とフルーツ10円玉、1円玉電池づくり」

8月22日午前10~12時、相模原市環境情報センターで、当会と「太陽光発電所ネットワークPVさがみはら」「理科で遊ぼう会」の共同で3団体の持っているノウ・ハウを持ち寄り講座を開催しました。

参加した子どもには、特にレモン電池、人間発電機、人力自転車等は人気があり、大変好評でした。最後にペットボトルの蓋を利用して、10円玉5個、1円玉5個を使った電池を作りオルゴールを鳴らしました。それを土産として大事に持ち帰っていました。思ったより順調に行きほっとしました。

平塚だより

平塚環境フェア2010

平塚市 柳川 三郎

遊びに学べ、学びを遊べ、ひらつか環境フェア2010は7月22日(木)から27日(火)まで、ひらつか市民プラザで開催いたしました。

主なイベントとして(1)参加体験コーナー・環境について体験しながら楽しく学べる環境教室の実施(2)展示コーナー・市内で行われている環境保全活動と環境に配慮した製品の展示(3)その他コツコツプランなど平塚における環境情報資料等による啓発を行いました。

主催は平塚市、実施団体はひらつか環境フェア2010実行委員会、協力はひらつか環境ファンクラブ、平塚市環境共生型企業懇話会、平塚地区環境対策協議会、神奈川大学等で実施しました。

参加規模は参加総数24団体、参加体験コーナーは11市民団体、1事業者、1大学、展示コーナーへは11市民団体と6事業者、1大学、1その他です。

来場者数は26日の月曜日が479名と多く、期間中の合計は1813人と前年を大幅に上回りました。

日替わり環境教室は オリジナルキャンドル作り - 電気を使わずスローな夜を演出しよう - 里山松ぼっくり工作教室 - 松ぼっくりのシラサギ作りや竹笛作り - 太陽光発電体験教室 - 未来の街ソーラータウンを動かそう - 間伐材でコースターづくり - 絵を描いてオリジナルコースターづくり - 環境紙芝居「宇宙人ミノリン」 - 環境問題を紙芝居で学ぼう - 身近な水を計ってみよう - 大学による水質の調査実験教室 - ミミズと仲良くしよう - ミミズコンポストでミミズの生態を観察 - え・コサージュ教室 - 要らないカラー広告で色彩豊かなコサージュづくり - 等で小学生にとって人気を得て実施できました。

今回のフェアで環境と理科とものづくりのミックス教室が役立つことを実感しました。



部会活動

ケナフ部会

部会長 荒谷 輝正

活動予定(11月下旬~23年1月)

11月2日(火)横浜市港南区上大岡コミュニティハウス「牛乳パックでハガキを作ろう」

12月4日(土)平塚市くるりん祭り「ケナフを使った紙漉きを実施

定例部会

10月23日(土)ケナフ部会定例会 ケナフの刈取及びパルプ作り

11月部会 研修旅行予定

活動報告(7月~10月)

- ・8月3日 相模原市の小学校教師25名対象に「ケナフによる紙漉教室」相模原市環境情報センター実施
- ・8月22日相模原市環境情報センター夏季講座「CO₂発生ゼロ!?いろいろな発電体験と10円玉1円玉電池づくり」他団体と共催実施(4面参照)
- ・8月28日(土) 洋光台誕生40周年記念パークサイ



- ドフェスティバル、はまぎんこども宇宙科学館「紙管を使ったペン立て作り」等実施
- ・10月16日 地球っ子クラブに「ケナフによる紙漉き」KERCにて
- ・10月17日 相模原市リサイクルフェアで「段ボールを使ったペン立て作り」相模原麻溝公園
- ・10月21日 横浜市港南区港南地区センター「はがきを作ろう」講座



今年もケナフの花が咲きました(9月4日)

エネルギー部会

部会長 桑原 清

活動予定(10月下旬~1月)

- ・11月13日(土)サイエンスクラブ工作教室、はまぎんこども宇宙科学館

定例部会(県民サポートセンター16~18時)

11月10日(水)703会議室、12月8日(水)709会議室、1月12日(水)709会議室

活動報告(7月~9月)

- ・7月30日 子ども環境体験教室、KERC
詳細は1面に掲載
- ・8月28日 洋光台誕生40周年記念パークサイドフェスティバル、はまぎんこども宇宙科学館
詳細は3面に掲載

神奈川県「省エネ・新エネ学校派遣授業」事業

- ・9月7日 秦野市内の小学校1日目

- ・9月29、30日 茅ヶ崎市内の小学校
- ・10月15日 秦野市内の小学校2日目
詳細は2面に掲載

定例部会(県民サポートセンター16~18時)

- ・7月14日 イベント、出前授業の参加者調整。勉強会：ペットボトル飲料LCA他
- ・8月11日 イベント、出前授業の参加者調整、完了したイベント等の報告。勉強会：「日本の環境配慮は本物か？」、環境教育他
- ・9月8日 イベント、出前授業の参加者調整、完了したイベント等の報告。勉強会：欧州を中心とする「10・10」活動の報告他
- ・10月13日 完了したイベント等の報告。勉強会：「GDPとGPI」他

大気環境部会

部会長 猪股 満智子

活動予定

定例部会 10月16日(土)13:30~16:00 NPOセンター大船

「指標生物で気候変動を見守ろう」H22年度中間

まとめと地図表現方法の検討

「吸光光度計、エコアナライザー、新分析器エコチェッカーによる比較分析について」等

11月5日(金)13:00~16:00 平塚プレジール

環境科学センター業績発表会 大気関係 4 題

11 月 20 日 (土) 13:30 ~ NPO センター大船
部会(第 17 回市民環境活動報告会の検討等) NO₂
測定準備

12 月 2 日 (木) 夕 ~ 3 日 (金) 夕 NO₂ の 24 時間
測定

12 月 11 日 (土) 13:00 ~ 16:00 KERC 実習室
NO₂ 測定 の 3 機種 による 比較 分析

活動報告

6 月 19 日 国立環境研究所シンポ 生物多様性

6 月 24 日 フェリス女子大学瀬谷キャンパスの環
境保全施設の見学

8 月 9 日 渋谷 海洋研究開発機構シンポ 「コンピ
ュータが描く地球の未来」 温暖化のフィードバ
ックとして植物の異常繁殖による CO₂ 増の懸念
と、長期的視野では生態系の適応も。エアロゾル
も雲になる効果もあり、太陽光をさえぎる冷却効
果も。

水環境部会

部会長 齋藤 昭一

活動予定

10 月は悪天候のため中止でした。

11 月 7 日 (日) JR 松田駅 (山側) 9 時集合
今年最後の調査です。水部会員全参加をお待ちし
ています。

活動報告

9 月 19 日 (日) 集合 JR 松田駅 (山側) 9 時
参加者、齋藤、柳川、猪股、村上、下畑の 5 名
齋藤、柳川 2 台の車に分乗、河内川道の駅下に着
いて驚いた。川の水が変わっていた。先日の大雨で
上流の地形に異常があったのであろう。薄緑色のか

わった水の色であった。こんな濁りは 20 年の探水
隊活動で始めてであった。とにかく調査を十分に気
をつけながら始めた。深みには入らずに細心の注意
で行動することをお願いした。特に下畑氏は初参加
である。こちら也十分に注意しながら行動した。村
上氏、猪股さんに頭が下がる。こんな悪状況の中で
見事に採集活動をしてきている。ヘビトンボ、ト
ビゲラ、カワゲラ、カゲロウ、コモチカワツボ、ナ
ミウズムシ等であった。特にナミウズムシが採集さ
れたことはうれしかった。上流から流れて来たのだ
ろうか、2 匹とも持ち帰り観察することとした。

グリーン部会

部会長 柳川 三郎

活動予定

10 月 28 (木) 県立大原高校 2 年生へボランティア
ガイダンス

11 月 13 日 (土) 神奈川科学アカデミーから依頼の
伊勢原市成瀬小学校へ出前授業に参加
テーマ 大豆のもやしについて

23 年 1 月 14 日 (金) 平塚市みずほ小学校へ出前講
座「エコな買い物の仕方を学ぼう」

活動報告

7 月 25 日 ひらつか環境フェア 2010、平塚市民ブ
ラザにて午前 10 時から午後 3 時まで、紙芝居上
演「宇宙人ミノリン」

7 月 30 日 環境科学センターにて、夏休み環境実験

デー&子ども体験教室、午前 10 時 ~ 12 時 30
分 テーマは「実験、体験、太陽のエネルギー」
エネルギー部会と協働して講師担当、参加は柳川、
上田

8 月 1 日 定例部会会議 ひらつか市民活動センタ
ーオープンスペースにて実施

8 月 29 日 中学生・高校生 (計 55 名) の夏休みボ
ランティア活動の体験報告会へ参加

9 月 15 日 神奈川科学アカデミーからの依頼によ
って、平塚市中原小学校 5 年全員に出前授業、責
任講師上田、講師として柳川、齋藤、射手参加
テーマ「大豆もやしの作り方・もやしを育てて世
界が見える」

廃棄物 GO3 部会

部会長 内藤 克利

部会員は居られるのですが、行事開催は殆ど行っ
ていませんので申し訳ありません。その代わりに
「NGO 容器包装の 3R を進める全国ネットワーク」
からの情報収集の一つを紹介します。この 3R 全国

ネットに GO3 の会で登録しております。

3R はリサイクル、リデュース、リユースの略称
でなじみのある言葉ですが、リサイクル量は減らず、
増加の傾向にあります。この三つの R を同列に考え

るのはおかしい。まずはリデュース、リユースであることになり 2R の言葉が生まれました。この考え方は当然のことで、マイバッグ、瓶牛乳、マイカップなど利用推進運動に繋がっています。

この 2R 推進のために動画 2 本（いずれも 3 分以

内）作成しています。

<http://www.citizens-i.org/gomi0/2r/anime.html> で見られます。尚、ご希望ならメール又は郵送でお届けします。ご連絡下さい。

自然環境部会 部会長代行 吉田 榮一

活動予定

12月26日(日)部会・報告会・特別講演会 かながわ県民センター604号室 14:15~17:00
特別講演会 16:00~17:00 講師 野崎隆夫氏(元KEREC、工学博士、トビケラの研究者)
演題「水生昆虫の世界」 部会員でない方も参加

歓迎。何方でもご参加ください。

活動報告

10月3日 新治市民森の自然観察と部会(平成22年度の活動計画打合せなど)
自然観察会については当会HP参照

★ 第17回市民環境活動報告会予告

実行委員長 内藤 克利

暑い夏でしたが、やっと快適な季節になりました。皆様も自然を満喫しながら環境活動に励んでおられる事でしょう。

今年もこの報告会を開催します。開催日は2011年3月5日(土)、場所は横浜駅西口の県民センター2Fホールです。詳細はこれから決まるのですが、

大筋は昨年並みです。

皆さんは日頃の環境活動を口頭発表やパネル展示で結果を報告しませんか。

この報告会の運営に会費の一部を利用させていただきますが、申請した助成金は見送りとなり、厳しい運営となります。最大限の努力で頑張ります。

★ エコポイント環境寄附を頂くことになりました

事務局 桑原 清

神奈川県環境学習リーダー会が「グリーン家電エコポイント」および「住宅エコポイント」の環境寄附対象団体に採択されたことは会報71号でも報告しました。

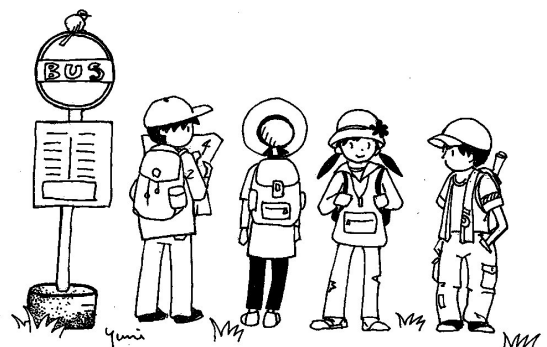
この度、家電エコポイント、住宅エコポイントの4月21日~8月19日の寄附金として5,000円余りをご寄附いただくことになりました。

寄附金の使途は「子どもたちに環境の大切さを理解して貰うための体験教室や自然環境教室を開く際の材料購入などに使います。」としていますが、具体

的には今後の理事会にて使途を検討します。

今後とも、グリーン家電の購入や、エコ住宅の新築・エコリフォームでエコポイントを取得された場合にはその一部でも結構ですので、当会にご寄附いただきますようお願い申し上げます。また、エコポイントを取得されたお知り合いの方がいらっしゃいましたら、当会へのご寄附をお願いいたしますよう、ご協力ください。

詳細は当会ホームページ <http://npo-k-leader.net/> をご覧ください。



事務局だより

事務局 桑原 清

理事会開催予定

かながわ県民センター会議室、14:00～16:00

11月11日(木) 705 会議室、12月9日(木) 705
会議室、1月13日(木) 708 会議室

理事会報告

かながわ県民センター会議室、14:00～16:00

8月12日 地域サポート部、助成金等について協議

9月9日 助成金、資産管理規定等について協議

10月14日 地域サポート部、市民活動報告会、次
回コミカレ等について協議

終了した事業

7月30日 子ども環境体験教室、KERC(詳細は1
面に掲載)

8月3日 相模原市小学教員研修会、相模原市立環
境情報センター(詳細は4面に掲載)

8月9日 消費生活教育教員研修、KERC(詳細は
2面に掲載)

8月22日 夏休み環境学校、相模原市立環境情報セ
ンター(詳細は4面に掲載)

8月28日 洋光台パークサイドフェスティバル、は
まぎんこども宇宙科学館(詳細は3面に掲載)

9月7日、10月15日 神奈川県学校出前講座 秦野
市内の小学校(詳細は2面に掲載)

9月29日、30日 神奈川県学校出前講座 茅ヶ崎
市内の小学校(詳細は2面に掲載)

学生会員と家族会員を創設

当会では平成 22 年度総会において、新たに学生会
員と家族会員を創設しましたのでお知らせします。

定款抜粋： 会員の章

(3) 学生会員 この法人の目的に賛同して入会し
た、学校に在学している個人

(4) 家族会員 (1)項の正会員の家族またはそれ
に準ずる者で、この法人の目的に賛同して入会した
個人

尚、会費は 1,000円/年 です。

狙いとしては、(1)学生会員は、学生たちに環境活
動の機会を提供し、新たな若い会員獲得を図るため
で、(2)家族会員は、正会員の家族がともに活動す
ることにより、家庭での環境作りと活動の環を広げ
るためです。皆様方には会員拡大へのご協力をお願
いします。

参加協力をお願いします!

(いきものみっけ連携)

気候変動を見守ろう

身近な生物を指標に初確認日をご報告願います。

キーワードは「いつ、どこで、初見、初聞き」

秋～冬の対象；イチヨウの黄色い実の落下し始め、

ジョウビタキ(羽に三角の紋付き)、モンシロチョ

ウ、関東タンポポ、シロバナタンポポ、ヒキガエ

ルの卵、ウグイスの初鳴き

遠出をする必要はありません。自宅周辺、外出の際
などに、ほんのちょっと注意をばらうと、毎年の気
候変化が手に取るよう。1種でも結構です。見つけ
たものだけを報告してください。県版マップデータ
化します。

猛暑の影響ばっちり。冬から夏の生きものの初確認
が早まる傾向。アブラゼミの鳴き声がかマゼミにかき
消され気味。ツクツクボウシは9月下旬まで鳴きまし
た。9月、ヒガンバナ、ハギ、ススキの出穂は10日～
2週間遅れとなっています。

送り先：大気環境部会 猪股 Tel/Fax 0467-32-6858

Eメール： km_inmt@ybb.ne.jp

(環境省主催いきものみっけシートの当会への重複送
付も大歓迎！ただし当会は神奈川県版を作成してい
ます。環境省いきものみっけのホームページは、
<http://www.mikke.go.jp/> をご覧ください。)

特定非営利活動法人

神奈川県環境学習リーダー会 会報 第72号

発行日：2010年10月25日

発行者：代表理事 齋藤昭一

編集人：田口繁雄広報部長代行、長村吉洋広報部

〒231-0013 横浜市中区住吉町2-26

洋服会館3階 よこはま市民共同オフィス内

FAX：050-3488-4943

E-MAIL：npo.k.leader@gmail.com

URL：<http://npo-k-leader.net/>

寄付、会費等納入口座：ゆうちょ銀行

00230-4-30769 神奈川県環境学習リーダー会

不許複製 © 神奈川県環境学習リーダー会

2010 Printed in Japan